

県西教育事務所だより

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 令和8年1月8日発行(第4号)

明けましておめでとうございます。令和8年が幕を開けました。この一年が、子どもたち、そして教職員一人一人にとりまして、希望に満ちた素晴らしい年になることをお祈りいたします。

さて、今年は、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが開催されます。その開会式のテーマは、「Harmony (調和)」です。ちなみに、外務省は、「令和」の意味を外国政府に英語で説明する際は、「Beautiful Harmony (美しい調和)」という趣旨だと伝えるよう、各国在外公館に指示しています。

「調和」とは、「異なる要素や人々がうまくバランスをとり、共存・共生する状態」を表す言葉です。「調和」は、お互いを尊重しながらより良い関係を築くための鍵となり、単なる「合わせる」ことではなく、多様性を認めながらも全体としての美しさを追求するという深い概念が込められているとも考えられます。

これからも、子どもたち、そして教職員一人一人の個性を尊重し、共に支え合い、高め合っていきましょう。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。 県西教育事務所長 木村 教人

学びのイノベーション推進プロジェクトに係る実証研究校公開授業(小学校・算数科)

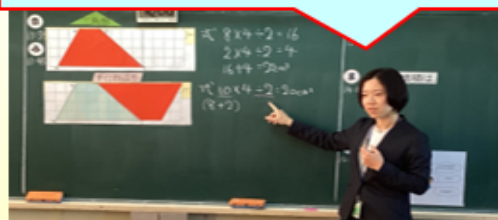
小学校 算数 令和7年11月28日(金)、結城市立江川南小学校において公開授業(算数科)を開催しました。当日は、佐藤 加菜 教諭による「四角形と三角形の面積」の授業を公開しました。江川南小学校では、「図形領域における思考力を育成する算数科学習指導の在り方」を目指し、振り返りを生かした問いの発見と学習の個性化を重点として研究を進めてきました。当日も、①アウトプット、②ICTの活用、③振り返りの3つの視点から授業づくりを進め、授業者がさまざまな視点から問い返すことで、児童が図形を構成する要素などに着目する姿が見られました。これまで、系統性を生かした授業づくりを実践してきたことで、その成果を児童の学びの姿から見取ることができました。

また、授業を参観された先生方も、研究協議及び国立教育政策研究所 小山 雅史 学力調査官・教育課程調査官による懇切丁寧な指導講評を通して、算数科学習指導の改善・充実を図るポイントについて理解を深めることができました。

【小山 雅史 学力調査官・教育課程調査官 からの指導講評より】

- ・前時の児童の振り返りから本時の学習課題が引き出されており、今日は何について考えるのか、どのように学ぶのかが児童と共有されていたので、非常にすっきりとした導入になっていた。それが、自力解決の際に図と式を関連付けて考えたり、比較検討の際にさまざまな考え方について話し合ったりすることにつながっていた。今日の授業で重視する点にじっくりと時間をかけて思考できる授業デザインとなっていることが素晴らしい。
- ・図形領域における学びのつながりを意識して授業を実践されているので、既習の面積の求め方に帰着して考える、統合的に考察する力の育成が図られているのが、児童の記述や発言から見取ることができた。
- ・授業者が積極的に問い返すことで、児童が数学的な見方を働かせ、図形を構成する要素に着目する場面が数多く見られたのが、素晴らしかった。
- ・カリキュラム・マネジメントを推進するために、全国学力・学習状況調査結果から課題を細分化して実態を捉え、どのように授業デザイン(見方・考え方を働かせる問題解決)・単元デザイン(領域の内容や領域間の関連、系統を捉える)をするのが重要である。

どうして÷2をしなくてはならないの？



児童の発表をもとに、深く掘り下げて考えられるよう授業者が問い返す場面

「中学生・高校生のための教職セミナー」開催 令和7年11月15日(土) 県西生涯学習センター

中学生・高校生に、教職の魅力を伝え、教員になりたいという思いを高めてもらうために、「中学生・高校生のための教職セミナー」を実施しました。協力者の先生方と中学生・高校生によるグループトークでは、教職のやりがいや目指そうと考えた動機等について質疑応答が行われました。先生方からは、自身の実践や胸が熱くなる瞬間について語る姿が見られました。協力者からは、「中学生や高校生のみなさんの教職への熱い思いを感じることができ、初心を取り戻すとともに、教員としてのやりがいを再認識するよい機会となりました。」等の振り返りがあり、参加者全員にとって大変充実した時間となりました。

先生方から学んだのは、いろんな経験を積んでおいたほうがいいこと、教員だからといって完璧じゃなくいいことです。この経験を生かして、私は自分らしい教員を目指したいという気持ちが強くなりました。私は小学校のときから教員になりたいという夢があり、セミナーに参加しました。教員になって良かった事やつらい事などが具体的に分かって良かったです。これからも自分の夢を実現するために、勉強や部活動を頑張ることが必要だと感じました。

参加した生徒の振り返りより(一部抜粋)

中学生のときに教職セミナーに参加された方が、協力者として…



グループトーク及び参加者の集合写真

グループトーク協力者の先生方

- | | |
|-------------|----------|
| ・田中 里奈 教諭 | (五箇小) |
| ・秋葉 涼太 教諭 | (中結城小) |
| ・池羽さくら 教諭 | (岩瀬東中) |
| ・齊木 開晴 教諭 | (境一中) |
| ・鈴木愛莉香 養護教諭 | (坂東東中) |
| ・相馬 光敬 教諭 | (坂東清風高) |
| ・嶋田 夏海 教諭 | (下館第二高) |
| ・木戸 春花 教諭 | (協和特別支援) |

令和7年度いばらきサイエンスキッズ育成事業より

第69回茨城県児童生徒科学作品展 兼日本学生科学賞茨城県作品展表彰式

令和7年11月28日(金)に茨城県児童生徒科学作品展の表彰式が県庁講堂で行われました。県西地区からも地区展金賞作品36点が出品され、茨城県知事賞をはじめ、4点が入賞しました。



- ・茨城県知事賞
野村 瑠奈さん(結城市立絹川小学校6年)
- ・げんてん財団科学賞
菊池 凜人 さん(桜川市立南飯田小学校6年)
水見 芽維 さん(筑西市立関城中学校2年)
水見 瑠維 さん(筑西市立関城中学校2年)
- ・つくば科学万博記念財団理事長賞
島田 はな さん(下妻市立下妻小学校5年)

令和7年度 科学の甲子園キッズ

第1回科学の甲子園キッズが令和7年11月13日(木)に茨城県教育研修センターで開催されました。



チームで協働する大切さ、科学の面白さや楽しさを体験することを目的として、今年度から小学校5・6年生を対象に実施されました。

今年度は「プロペラシューターでターゲットを目指せ!」を課題とし、県内から集まった31チームが参加して競技が行われました。県西では、チームエジソン(常総市立石下小学校)が金賞、中央化学ブラザーズ(古河市立中央小学校)が銅賞を受賞し、素晴らしい結果を残すことができました。

生徒指導関係加配校訪問を終えて

今年度も、前期・後期の2回生徒指導に係る加配校訪問を実施しました。各校の実態、課題とその解消に向けた取組等を共有する貴重な時間となりました。ご多用のところご対応いただき本当にありがとうございました。今年度の訪問で見られた成果の上がっている取組についていくつか紹介します。

- ・校内共通スタイルとして、前時の学習事項のキーワードを板書し確認してから本時の内容に入る。
- ・毎週行われる生徒指導部会にスクールカウンセラーも参加し、子どもの見取りやアセスメントと一緒にいたり、その場で教職員に助言を行ったりしている。
- ・スクールカウンセラーやスクールロイヤーと連携して、専門的知識を生かした授業を実施し、未然防止につなげる。
- ・校内フリースクール担当者の時間割を固定し、各時間の担当者を子どもと共有することで安心感につなげている。
- ・校内フリースクール内のスペースを区切って学習机を用意し、各自が学習に集中できる環境を整える。

今後も、学校全体で生徒指導の実践上の4つの視点(資料1)を重視した授業づくりや集団づくりをお願いします。

また、SOSの出し方に関する教育の充実(子どもへのSOSの出し方・受けとめ方授業、[特に長期休業前]、教職員によるSOSの受けとめ方研修、相談窓口の周知徹底、子どもとの信頼関係づくり等)にも努めてください。すべての子どもたちの望ましい発達のために、引き続きよろしくをお願いします。

各教科と生徒指導を一体化させた授業づくり・集団づくり

授業づくり		集団づくり	
自己存在 感の感受	□児童生徒の多様な学習の状況や興味・関心に応じた、分かる授業、たのしい授業となるよう心がけていますか。	□児童生徒が、学級集団の中で役割を担ったり協力し合って活動したりできるようにしていますか。	
共感的な 人間関係	□児童生徒が、間違いやできないことについて、お互いの考えに関心を抱き合う授業づくりに努めていますか。	□児童生徒も、教職員も、積極的に、自分と異なる考えや意見を認めていますか。	
自己決定 の場	□授業で、児童生徒が意見を発表したり、対話や議論したりする機会をつくっていますか。	□学級や学校生活がよりよいものになるよう、児童生徒同士で話し合い、決定し、実践する機会をつくっていますか。	
安心安全な 風土の醸成	□学校が、児童生徒にとって自分が大切にされている、認められていると感じる場所となるよう心がけていますか。	□児童生徒がお互いの個性や多様性を認め合い、活躍できる機会や場を提供していますか。	

資料1 茨城県教育委員会「令和7年度学校教育指導方針」p.5より

人事課

優秀教職員の表彰式を開催

令和7年11月26日(水) 県西教育事務所において「優秀教職員表彰式」があり、木村教人所長から受賞された2名の先生方へ表彰状が手渡されました。優秀教職員の先生方、おめでとうございます。

- 筑西市立下館中学校 指導教諭 中久喜 美保 先生
授業の市内ライブ配信、「いばらきオンラインスタディ plus」において県内全域へ動画教材が配信される等、生徒への質の高い学びの機会を提供
- 古河市立三和中学校 主 任 小林 翼 先生
学校運営にも積極的に参画するとともに、事務手続きのDX化推進、市内若手事務職員の育成、実践発表を行う等、学校事務職員の資質能力向上に寄与



<参考資料>

昨年11月に、下妻市及び桜川市において指定研究発表会(小学校・国語科)が実施されました。
国語科「書くこと」の学習指導における実践をまとめた「研究紀要」を同送しましたのでご活用ください。